

AIR Tech エンジニア育成プログラム

本プログラムの取組内容

AI, IoT, RT (ロボット技術) といった次世代Technologyを、AIR(空気)のように自然に使いこなす「AIR Tech エンジニア」を育成

Step1

低学年

全学科共通

AIR Techリテラシー教育

- ◆ AIワークステーション44台導入
- ◆ IoT実習教材40台導入

* 数理・データサイエンス・AI
教育プログラム認定制度
(リテラシーレベル) 申請中



OBをロールモデルとする協働教育



- ◆ 創業者をはじめ本校OBが
多数在籍するフルーとの連携
- ◆ 各種セミナー等を通じて、
OBをロールモデルとする協働教育を実践

Step2

プレラボ制度を活用した

中学年

自主的AIR Tech実践活動

- ◆ ロールモデルとなるOBや卓越した学生達をTAに起用
- ◆ 各種コンテスト、発表会への参加による学外イベントへの参加
- ◆ センサ・アクチュエータの実装法、数理科学に基づくデータ解析法等を学ぶプレラボ



Step3

分野横断型チームによる社会実装プロジェクト

高学年

AIR Tech ラボ

技能継承+AI

農業+IoT

インフラ+RT



充実の実験設備



太陽電池
研究センター



雪氷低温技術
教育研究センター



視線追尾
システム



脳波解析
装置



ロボット
キャプチャ

卓越した学生達の活躍



- ◆ 3年間連続DCON本選出場 (計5チーム)